

第7次総合計画

政策・施策シート

【行政経営】

【 行政経営 】

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性				
	R2目標値	R2実績値	R2達成度（％）	参 考								
				R3目標値	R4目標値	R5目標値						
【 経営 1 】 的確な分析による戦略的な行政経営の推進	全施策の成果の達成度【％】						<ul style="list-style-type: none"> ●計画行政推進事業 ●広域連携検討・推進事業 ●連携中枢都市圏推進事業 ●特定複合観光施設（IR）推進事業 	【 重点化 】 ●計画行政推進事業、特定複合観光施設（IR）推進事業ほか ・R4年度から第7次総合計画 後期基本計画策定に着手します。 ・第7次総合計画スタートに伴う新・行政経営（行政マネジメント）の運用について、Action機能のひとつである「事業組立（新規・拡充事業組立）」にかかる事業評価を実施します。 ・倭ヶ浦半島開発については、動植物園移転検討をさらに深度化し、九十九島観光公園の全体事業の方針をまとめます。 ・IR誘致実現に向けて、地元経済界や地区自治協議会との協働により、IR誘致の取組を推進していきます。				
	89.0	86.7	97.4%	92	96	100						
	KPI達成状況の分析											
	●新型コロナウイルス感染症が全国的に蔓延することで、通常施策の進捗が停滞しました。●緊急事態宣言の発出や不要不急の外出自粛の影響を受け、事業の縮小、各種イベントの中止、施設の利用制限等を余儀なくされる中、その影響を受けたKPI（観光消費額、クルーズ客船による乗降人員数、各種施設利用者数等）については、その目標値を達成することは困難でした。●しかし、一方で、新型コロナウイルス感染症の影響の少なかったKPI（保育所待機児童者数、交通事故発生件数、要介護者以外の割合等）については、概ねその目標値を達成し、順調に進捗したものと考えております。											
	行政を介した移住者数【人】								<ul style="list-style-type: none"> ●UJIターン促進事業 ●離島半島振興対策事業 ●合併地域振興事業 ●新市一体化促進事業 	【 重点化 】 ●UJIターン促進事業 若者移住定住応援事業の利用者増に向け、従来の広報活動に加え、SNSなどでの広報を積極的に行います。		
	170	218	128.0%	170	170	170						
	KPI達成状況の分析											
	●オンライン移住相談やSNSを活用した広報活動等を行い、移住支援制度の周知や本市のPR強化を図ることで、KPI目標を達成することができました。											
	市内公共交通に関する計画路線の達成率【％】										<ul style="list-style-type: none"> ●交通不便地区対策事業 ●公共交通活性化事業 ●地方バス路線維持対策事業 ●離島航路対策事業 	【 重点化 】 ●公共交通活性化事業 ・佐世保地域公共交通網形成計画（期間：平成27年6月～令和7年3月）終了後の次期計画の策定に向けた検討を行います。 ●地方バス路線対策事業 ・現計画路線を維持できるようバス運転士確保対策、路線再編等、事業者との取組を進めます。 ●交通不便地区対策事業 ・社会実験を行いながら、導入地域拡充に向け取り組みます。
	94.3	93.7	99.4%	94.3	95.0	95.0						
KPI達成状況の分析												
●新型コロナウイルス感染拡大により、目標としていた日宇地区での交通不便地区対策（1路線）の事業実施を延期したことから、概ね目標を達成できたものの目標数値に届きませんでした。												
主要文化施設の利用者数【人】						<ul style="list-style-type: none"> ●アルカスSASEBO運営事業 ●市民文化ホール管理運営事業 ●文化振興基本計画推進事業 ●島瀬美術センター管理運営事業 	【 重点化 】 ●アルカスSASEBO運営事業・市民文化ホール管理運営事業・島瀬美術センター管理運営事業 ・3館の指定管理者である（公財）佐世保地域文化事業財団と共に、芸術鑑賞機会と文化活動の場を提供し続け、利用者数の回復を目指します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により市民が文化に触れる機会が減少しているため、社会情勢を鑑みながら文化芸術の鑑賞機会の提供や、市内文化事業の支援強化に注力します。					
615,000	200,450	32.6%	615,000	615,000	615,000							
KPI達成状況の分析												
●新型コロナウイルス感染症感染拡大が主な要因で、県北地域の文化拠点であるアルカスSASEBOの利用者数が減少し、目標を達成することが出来ませんでした。												
多文化交流ネットワークへの参加者数【人】								<ul style="list-style-type: none"> ●姉妹都市等交流事業 ●市民の国際理解促進事業 	【 重点化 】 ●多文化共生推進事業 ・在住外国人を日本人市民と同様の行政サービス受益者とするための取り組みを進め、地域での多文化共生の促進に向けた取り組みを重点化します。 ・在住外国人等の増加に対する施策として、「やさしい日本語」等の普及、多文化共生セミナーの開催(取組事例の拡散)やオンラインも活用した事業展開を行います。			
1,170	1,062	90.8%	1,254	1,308	1,362							
KPI達成状況の分析												
●新型コロナウイルスの影響により、姉妹都市等交流事業のほぼすべての事業が中止又は延期となり、市民の国際理解促進事業も同様に市民向けの事業の多くが中止となりましたが、KPI向上のために積極的なオンラインの活用や広報活動等を行いました。												

【 行政経営 】

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度（％）	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【 経営 2 】 市民の視点に立った行政基盤の整備	市職員の対応への市民満足度【％】						●人材育成推進事業	【 重点化 】 ●人材育成推進事業 ・研修と人事評価項目との関係性を明確化し、人事評価の結果が低い評価項目に関する所属長等による指名（推薦）研修の実施を図ることで、効果的な人材育成につなげていきます。 ・職員が自ら考え、主体的に行動できる「職員力」の向上や、各職場におけるDXを用いた行政サービスの効率化、利便性の向上など、更なる業務改善や組織活性化を図ります。
	79.0	78.4	99.2%	79.5	80.0	80.0		
	KPI達成状況の分析							
	●コロナ禍で計画通りの事業実施ができませんでしたが、改革改善を推進できる人材育成に取り組み、KPIの維持・向上に寄与したものと考えます。						●市政情報提供事業 ●市政情報提供事業（インターネット） ●広聴制度推進事業	【 重点化 】 ●市政情報提供事業・市政情報提供事業（インターネット） ・情報の特性を踏まえて広報媒体のすみ分けを図るとともに、内容によって相互連動を図る、あるいは、DX推進を視野に入れた取り組みへの転換を図るなど、事業効果・広報効果を高めるような取り組みとして重点化を図ります。
	広報紙に対する満足度【％】							
	98	98.4	100.4%	98	98	98		
KPI達成状況の分析						●情報化推進事業 ●基幹系業務システム管理事業 ●統合型地理情報システム整備事業 ●便利市役所推進事業 ●庁内情報化基盤整備事業	【 重点化 】 ●情報化推進事業 ・令和3年度に策定するDX戦略（仮称）に基づき、新たなDXプロジェクトの実施とその推進体制を構築し、市民が実感できるサービスの向上や地域活性化を目指します。 ・先進技術を活用したスマートプロジェクトによる業務改善については、これまでの主管部署からの相談案件を対象とした受動的な対応に加え、新たに全庁共通業務などの改善を提案していくことで更なる業務の効率化を図ります。 ●便利市役所推進事業 ・令和3年度のオンライン申請による手数料等のキャッシュレス化に加え、新たに各種申請窓口と納付書による支払いについてキャッシュレス化を進め、決済手段の多様化による利便性の向上を進めます。	
AI等先進的なICTにより効率化した時間【時間】								
2,000	3,518	175.9%	2,500	2,800	3,000			
KPI達成状況の分析						●基金造成事業 ●財政一般管理事業 ●債権管理推進事業	【 重点化 】 ●債権管理推進事業 ・重複滞納者への対応の一元化や滞納整理における手法の標準化により、効果的かつ効率的な債権管理を行う新たな組織を設置するため、検討の「舵取り」役として、債権管理対策室の暫定設置期間を延長し、部局間の連携強化を図ります。	
●新たな業務に対してRPAを活用したことも寄与しています。また、本格運用を行うにあたり、研修会等を開催し、改めて庁内周知を図りました。								
財源調整2基金（減債基金及び財政調整基金）の実質的な残高の標準財政規模に対する割合【％】								
10.0	13.6	136.0%	10.0	10.0	10.0	●自主財源確保事業（納税・市民税・資産税）	【 重点化 】 ●自主財源確保事業 ・令和2年11月に導入したクレジットカードやスマホアプリを利用したキャッシュレス決済の周知に努め、納期内自主納税の推進、ひいては徴収率の維持・向上を図ります。 ・滞納整理の基本となる財産調査の早期着手や効率的な滞納整理を恒常的に執行することにより、現年度徴収の促進を図り、市税徴収率の維持・向上に取り組めます。	
KPI達成状況の分析								
●第6次佐世保市行財政改革推進計画の着実な推進により、基金に一定額を積み立てることができていたためと分析しています。								
市税徴収率【％】						●施設再編整備推進事業 ●市有財産管理事業	【 重点化 】 ●施設再編整備推進事業 ・令和3年度に策定・公表予定の第2期実施計画（令和4年度～令和8年度）について、計画の適正な進捗管理を行い、施設の複合化や民営化等に取り組み、施設の総量縮減を進めます。 ●市有財産管理事業 ・令和元年度に行った普通財産の棚卸し結果を踏まえた計画的な財産の処分・利活用とともに、長期的貸付物件の積極的な払い下げを進めます。行政財産については、長期的に目的外使用許可や貸付けを行っている物件、用途廃止予定物件の実態調査と整理を行います。	
97.2	96.7	99.5%	97.2	97.2	97.2			
KPI達成状況の分析								
●景況等による減のほか、コロナ徴収猶予の特例の影響により、目標を達成することができませんでした。しかしながら、徴収猶予の特例による繰越を除いた場合、徴収率は97.43%となり、KPIのR2年度目標値を達成しています。						●公共施設適正配置・保全基本計画」対象施設の延床面積削減率（累積）【％】	●施設再編整備推進事業 ●市有財産管理事業	
4.22	3.52	83.4%	4.97	5.72	6.47			
KPI達成状況の分析								
●公共施設適正配置・保全第1期（H29～R3）実施計画の着実な実行により、計画期間中（20年間）の延床面積の削減目標15%の年平均0.75%に対して若干のタイムラグがありますが、概ね削減が進んでいます。								

【 行政経営 】

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度（％）	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【 経営 4 】 効果的で効率的な行政運営の推進	行財政改革プランの達成率【％】						●行財政改革・地方分権推進事業	【 重点化 】 ●第7次総合計画（後期基本計画）策定に合わせた政策・施策の整理検討への参画 総合計画の基本構想に定めるまちづくりの方向性を実現するための現組織の問題点を整理し、後期基本計画策定に合わせ政策・施策を整理検討する段階でこれに参画し、 政策と組織の一体化した組織・機構を検討 します。 ●行財政改革・地方分権推進事業 【行政のデジタル化等による業務改革】 ・ICTの活用やBPRの実施による市民サービス向上や業務効率化について、DX推進室と連携して具体的な対象業務と手法を検討します。
	100	94.1	94.1%	100	100	100		
	KPI達成状況の分析							
	●●「職員の自発的な業務改善」「適正な行財政規模への是正」「官民連携の推進」をKPI向上の要素（改革の視点）と捉え、第6次行財政改革推進計画（後期プラン）の基本目標である収支不足額の解消や行政サービスの安定的な提供に向けて取組みました。							
【 経営 5 】 基地との共存共生の推進	新返還6項目の進捗率【％】						●基地政策事業	【 重点化 】 ●基地政策事業 【佐世保港の長期総合計画の見直し業務】 ・市議会からの提言書を受け、全庁的な組織「佐世保市基地政策推進本部」の中で、「佐世保港の長期総合計画」の見直しを行い、議会と共に「 新たな基地政策方針 」の策定を進めます。（令和4年6月を目途に策定）
	64.3	64.0	99.5%	64.4	64.8	65.9		
	KPI達成状況の分析							
	●計画通り概ね達成することができました。							